特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター



| 若 | 者 | & | 生 | 活 | & | ま | ち | づ | く | り | の | 取 | り | 組 | み | 版



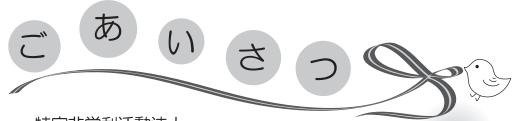
はじめに

コミュニティワーク研究実践センターは 子どもから高齢者までを対象に 生活・仕事・活動(あそび・スポーツ・芸術文化)に 係わるプログラム提供をとおして 共生コミュニティの再創造のための 課題に対する調査研究や人材育成を進め すべての人が共に豊かに 生きることのできる社会の形成に 寄与することを目的とする 特定非営利活動(NPO)法人です

目次

Y	はじめにP2
	ごあいさつ
	コミュニティワーク研究実践センター 全体図P6
9	キズナスポットP7
手稲	手稲 コミュニティハウス れおん ······P10
月形	月形町での取り組みP18
札幌	札幌の若者支援施設での取り組み (札幌市若者支援総合センター・アカシア若者活動センター)P26
札幌	市民活動プラザ星園P32
(1. i)	スタッフ困りごと つぶやき ······P34





特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター

あなざわ よしはる 事務局長 穴澤 義晴

コミュニティワーク研究実践センター若者支援部門では 「若者が地域(コミュニティ)で生き甲斐を持って暮す!」をテーマに 生活・仕事・活動&居場所づくりとつなぐ取り組みを進めています。

月形町(札幌から北へ50km)の田舎の地縁コミュニティに着目し、 また札幌都市部では、生活・仕事・活動それぞれの場での 目的型コミュニティで取り組みを進め、3年目が終わろうとしています。

様々な方々との出会い・協同を通して、大切にしたいキーワードがいくつか見えてきました。

・「ゆるゆる」で「わくわーく」な関係と場づくり・他人事を自分事に変える・権力闘争ではない幸せの闘争

これらの事は、関わる若者と彼らが関わるコミュニティにとって、とても大事な事で、 共に暮らしていくための、大切にしていきたいキーワードとなっています。

また、私たちの取り組みは、 例えば就職をさせるとか1つの目的にそった支援の現場ではなく、

困りごとを抱える人がどんなことで困っていて、 そのためにはどんな人や機関とのつなぎが必要か、 共に考え、行動を共にすることが私たちの役目であり、

そのためには、様々な境界を横断し、境界自体に風穴をあけていければ! とも考える今日この頃です。

困りごとを、スタッフと当事者で部屋の中で解決策を考えるのをやめて、 コミュニティの人たちが集まる場所で、皆さんに聞こえるように、 困った!困った!と言う様にしようと考えています。

今回の冊子も、私たちの活動を知っていただくと共に、ほっとけない気持ちになっていただけたら幸いです。

コミュニティワーク

研究実践センターって、どんなどころ? なにをしているのう

スタッフを配置している各施設の資源を活用しながら互いに連携し 生活に困窮した方や、ニート引きこもりと呼ばれる若者の 就労・日常生活・社会生活(つながり)についてサポートしています。

市民活動プラザ星園

まちづくり活動 拠点管理運営

星園まつり

コミュニティワークの 事務局はこちらです

星園入居団体と コミュニティワーク 各拠点の 集大成イベント!



就労訓練

パソコンレッスン

仕事づくり

ジョブトレ

- ・清掃



孤立防止・社会生活自立に向けた連携

ジョブトレ連携

若者支援施設

札幌市若者活動センター

アカシア・ポプラ 宮の沢・豊平

アカシアにてロビー相談や ワークショップ 若者支援総合センターでは ロビーカフェを 実施しています



札幌市若者支援総合センター

さっぽろ若者 サポートステーション

ニート・引きこもり状態の 若者たちを対象に就労支援の プログラムを実施しています 月形へ日帰り体験や 野菜市も実施します



テーマは 連携!

今後の可能性は まだまだこれから!



就労訓練

キズナスポット

生活困窮者支援

生活再建のための総合相談窓口です。 キズナ相談員が各種機関と 連携しながら伴走型の支援を行い 相談者の生活再建を目指します。/

シェルター 緊急避難者用個室

他団体連携

ベトサダ様 なんもさサポート様

合同で札幌中心部にて 巡回相談を実施し、 お声かけや パンフレット配布 支援が必要な方の保護を 行っています。

手稲

コミュニティハウス れおん

様々な問題や悩みを抱えた方のシェアハウスです 専門スタッフが本人に伴走しながら 自立への一歩をサポートします /



野菜市や、一人暮らし体験 おもちゃ作り事業などを 実施しています

利用者同士の交流と キズナスポットの対応による 絶え間のない支援

ショントン連携

月形

樺月荘

就労や生活困難な若者らの 自立支援を行っています。 若者たちが月形町で 共同生活をおくりながら 農作業を中心とした 就労体験を

積んでいます



サトニクラス様

若者達の 仕事作りとして 漬物製造 販売などを 行っています



野菜販売 イベント参加

ジョブトレ連携 日帰り体験



キズナスポット

平成24年4月より実施している生活再建のための総合相談窓口です。キズナ相談員が、 各種機関と連携しながら、伴走型の支援行い、相談者の生活再建を目指します。

相談人数

延べ120名 (平成24年4月~平成24年12月末)

お問い合わせ

電話 090-9433-4511 E-mail kizunaspot2012@yahoo.co.jp

移動・訪問型の相談

時間や場所を限定しせず、ひとり一人の事情や状況に応じた訪問・移動型の相談を実施しています。

同行サポート

生活保護の申請のサポートや居宅場所の確保、病院や各種専門機関への同行を行っています。

就労サポート

面接練習、履歴書の添削、パソコン指導の他、 ハローワーク等への同行を行っています。

日常生活サポート

自宅へ訪問し、家事状況の確認と指導、金銭管理サポート。

社会生活サポート

地域活動、各種グループ活動、ボランティア活動の紹介・同行の他、 居住場所に訪問し住民との関係維持サポート(相談)を実施しています。

緊急避難用個室(シェルター)

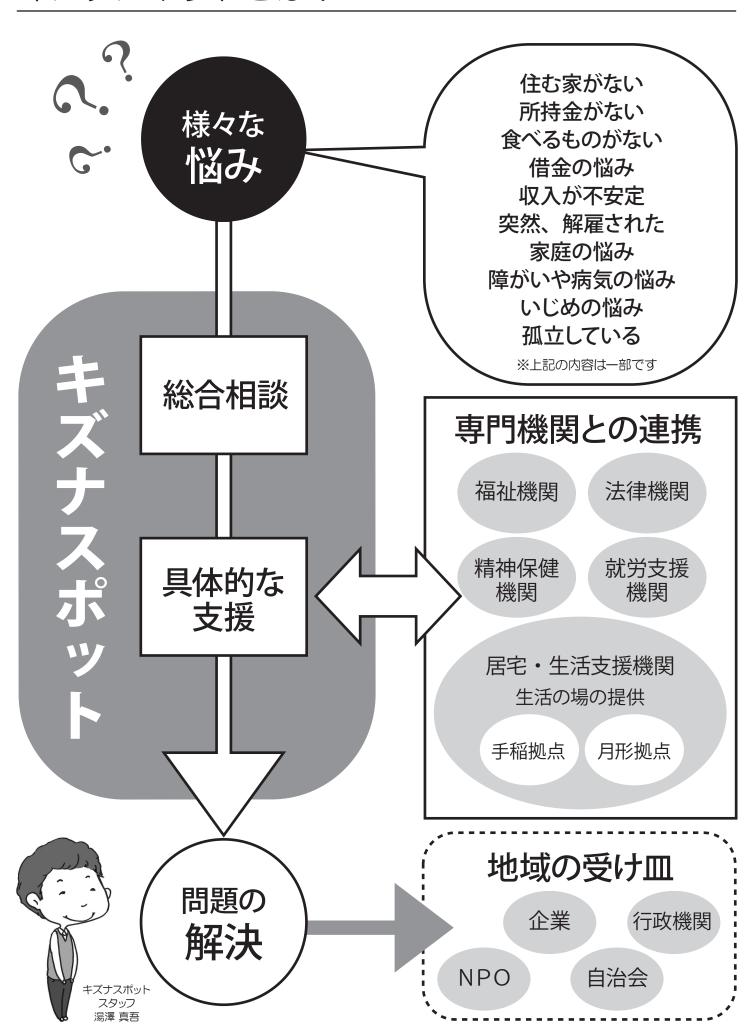
緊急避難者用個室を札幌及び月形町に設置し、住む場所を無くされた方、様々な事情でお家に帰ることが難しい方、帰る場所が無い方の生活再建までの一時保護と自立をサポートしています。

巡回

平成24年9月~平成25年1月末/11回の巡回対応人数延べ148名

NPO 法人自立支援事業所ベトサダ様や合同会社なんもさサポート様と合同で、毎月第2・4土曜日の6時15分より札幌駅、大通、地下歩行空間など札幌中心部で、巡回相談を実施しています。

お声がけやパンフレットの配布を定期的に実施する中で、関係構築や健康状態の 把握を行っています。巡回中に直接保護するケースなどもありました。



キズナスポット/連携先の方から

まつした かずひろ

松下 和広 特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ



つながりに感謝

ベトサダを訪れる相談者は年間 300 人を越えますが、近年は若者の相談者が 急激に増えています。その若者達のほとんどに共通しているのが、仕事や住居 だけでなく、親をはじめとする他者との関係性をも失っていることです。

当事者の方々は皆それぞれ、様々な問題を抱えながらも自立を目指していますが、中には障害(知的、精神的)をお持ちの方、人間関係をうまく築けない方、就労意欲を失っている方、金銭管理が出来ない方等、日常生活、社会生活も含めた長期的なサポートを必要とされる方もおられます。

「れおん」様では、生活保護を受給させるだけの単純な支援ではなく、金銭管理を含めた生活習慣の改善、中間的就労体験、地域との交流の場作り等、一人ひとりがそれぞれ抱える課題に対して、実にきめの細かい自立支援活動を行っておられます。

ベトサダからも昨年3名の若者が「れおん」様と繋がり、生活再建のサポート をうけながら現在も自立に向けて頑張っています。

また、スタッフの皆さんはとても勉強熱心で、他の支援団体の活動や取り組み方を一生懸命研究されておられる姿勢には、本当に頭が下がる思いです。

不安定な経済状況が続くなか、今後も様々な形での生活困窮者が増え続けると 思われます。「れおん」様が行っているような寄り添い型の伴走支援は、これからは 更に重要性が増していく事でしょう。

連携をさせて頂いている私達にとって、「れおん」様の存在はとても有り難く、 そして非常に心強い存在であります。

特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ

キズナスポットの取り組みにご協力いただいている 自立支援事業所 ベトサダさんをご紹介します。

ホームレスの自立支援活動 一脱・路上生活ー

北海道札幌市で

路上生活者・生活困窮者の方々の保護 自立支援、就労支援を行っています。 一時しのぎのシェルターではなく、自立した生活をしてもらう 最初の一歩を踏み出す場所として「生活荘ベトサダ」を運営しています。 失業しても生命の危機に陥らないために、また、就労意欲を培うために、 安心して居宅生活できる場所です。

NPO特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ 代表理事 眞鍋 千賀子 TEL 011(716)5130

HP http://www.npo-bethesda.com/



キズナスポット/ボランティア・相談者の方から

しろの かなこ

城野 果南子 実習生兼ボランティア

私は昨年、大学での卒業論文を執筆するにあたって、 職員の方に利用者様のケース研究を提案していただいたことから、 実習生兼ボランティアとしての活動が始まりました。



最初は主に、市役所や相談室などの機関へ同行させていただきました。 私は社会福祉士を目指しているので、利用者様との関わり方や、各種機関との 連携など、専門的かつ実践的なことを学べたので、とても有意義な時間を過ごす ことができました。

また、最近では生活保護を受給されている方のご自宅にて、自炊補助のボランティアをさせていただいておりました。私は卒業論文で、ホームレスと生活保護 受給者の自立について研究をしていたので、利用者様との関わりを通して、現状をお目にかかることができ、非常に貴重な経験をさせていただけました。

春から福祉職に勤めるあたって、これらの活動を生かし、生活に課題を抱える 方のお役に立ちたいと思います。

れおんの職員の方々、利用者様、本当にありがとうございました。

Tさん (男性) キズナスポット 相談者

れおんのスタッフとはじめて会った時は、生活保護の申請することは知っていたけど、少し不安を感じました。自分ではどうしようもない状況だったので、お願いしますというか、なりふり構わずいくしかないなと思いました。

実際にれおん(シェルター)に入って、温かいご飯が食べれる、寝る布団がある、お風呂に入れる、これでまた助かったと思いました。れおんのシェルターは個室だったので、気分的には落ち着きました。スタッフの人や住んでいる人と出会って、自分だけが辛いんじゃないとわかりました。仲良くできたのは良かったです。あと、ベトサダのスタッフやれおんのスタッフが、自分のためになんとかしよう

あと、ベトサダのスタッフやれおんのスタッフが、自分のためになんとかしよう と頑張っているのがわかって、自分が頑張る励みになりました。

れおんを出てからのはじめの生活は、少し軽く考えているところがあり、何度 もピンチになりました。ただ、サポートしてくれたスタッフの方々のおかげで、 ピンチを乗り切る事が出来ました。

れおんの除雪では、除雪することで喜んでくれる人が周りにはたくさんいるんだなとわかり嬉しかったです。

今後は、何が出来て、何が出来ないかを就労支援事業所にいって理解をふかめ 仕事を探していきたいと思います。

手稲での取り組み(北海道札幌市手稲区)



コミュニティハウス れおん

電話 090-1385-4510

手稲日記Blog

http://communitywork-center.seesaa.net/

様々な課題や困難を抱え、自立を目指す方たちの共同生活型のシェアハウスを平成23年8月より実施しています。専門スタッフが常駐し、自立に向けた第一歩を本人に伴走しながら「日常生活」「仕事」「社会生活(人とのつながり)」について各種機関と連携しながら総合的にサポートしています。

今後必要になると予想される、アルバイトや中間的就労で生計を維持する取り組みも、拠点を利用し試行的に取り組んでいます。(家賃 40,000 円 ※食費・光熱費込み)

生活

抱える課題やニーズに応じて、自立に向けた個別サポートを行っています。

- 生活習慣の改善、習得 (掃除・洗濯・ゴミだし等)
- 自炊指導 (調理・買い物・献立)
- 金銭管理サポート
- 各種機関との連携、同行
- 居宅場所の確保 (自立に向けた中期居住・ 一時的避難の為のシェルター機能)
- 相談、面談等





皆で家族のように 食事の時間です♪ 誕生日会もしますよ♪





活動実績

実利用人数/18人

1 入居者 3名

2 一人暮らし体験事業(野菜市・落ち葉拾い)

5名/22日(8月~11月) 【連携先】さっぽろ若者サポートステーション

3 緊急避難受け入れ(シェルター)

8名/129日(平成24年4月~平成25年2月) 【連携先】特定非営利活動法人自立支援事業所ベトサダ よりそいホットライン 手稲スタッフ 白船 正司



Pick Up!

ひとり暮らし体験

(星園祭り・東区子ども会・野菜市・落ち葉ひろい)







さっぽろ若者サポートステーションや地域の事業所と連携し、2泊~4泊5日の「ひとり暮らし体験」事業を実施しました。

生活習慣の改善や、炊事・洗濯・掃除等の家事全般を行いながら、職場に「通勤」し、おもちゃづくりや落ち葉拾いなどの「仕事」を体験します。

家族と離れ、「れおん」という共同生活の場で、寝起きをし、食事をとり、 お弁当を自分で作るなど、自分のことは自分ですることを事業の中で大切にして います。

共に成長しながら、共存性や自立心が養われる「場」に、「れおん」がなっていきたいと考えています。

手稲での取り組み/仕事について

社会生活習慣の習得・就労意欲向上サポート

仕事

相談や各種機関との連携、地域企業と協力した有償ジョブトレーニングを実施しています。その他、独自に中間的労働(仕事づくり)にも取り組んでいます。

- キャリアカウンセリング、面接練習、履歴書添削
- 札幌市若者支援総合センターや各種就労機関との連携
- 有償ジョブトレーニング (庭仕事・除雪作業)
- 仕事づくり(手作りおもちゃ製作・野菜市など)

活動実績

参加人数/延べ28人

- 1 手作りおもちゃ有償トレーニング 実参加人数5名
 - ・宮の沢ユースアート (宮の沢若者活動センター)(9月)3名:工作指導・販売
 - ・市民活動プラザ星園祭り(10月)1名:工作指導・販売
 - ・東区区民センター子ども会祭り(11月)1名:工作指導

【連携先】さっぽろ若者サポートステーション

- 2 公園落ち葉ひろい (11月) 4名 落ち葉除去作業 【連携先】チュプひまわり
- 3 生活支援サービス (通年) 5名 個人宅の庭仕事、不用品整理、除雪など 【連携先】アイダ企画
- 4 こだわり野菜市 (7月~10月) 7名

ポスティング、手作りおもちゃ製作体験、野菜収穫(壮瞥町)、接客、販売 【連携先】さっぽろ若者サポートステーション

- 5 除雪作業 (平成24年12月~平成25年3月)参加人数 延べ7名
 - ・金山郵便局(郵便ポスト、郵便局入口、駐車場) 2名
 - ・市民活動プラザ星園(駐車場、正面入り口) 4名
 - ・公文式金山教室(駐車スペース)

1名



Pick Up!

木の手作りおもちゃ

コミュニティハウス「れおん」では自立を目指す若者

(生活が困窮している方や様々な困難を抱えている方) の生活支援と、

その若者の仕事づくり(中間的労働)や機能訓練の一環として、竹や木の手づくりおもちゃの製作から販売までを行っています。

家でも簡単に作れる手作りおもちゃは、遊び方を含め子どもたちの手先の訓練になり、発達を促す効果が期待されます。

そして、昔懐かしい手作りおもちゃで世代を超えた交流のきっかけづくり(コミュニケーションツール)としても活用してほしいという思いと、参加する若者の作業能力を把握し、それらを活かした中間的就労の場として位置付けて行きたいと考えています。



屋代 育夫 アイダ企画

ジョブトレーニング受入先としてお世話になっているアイダ企画さんにお話を伺いました!

「ひきこもり」と言われている若者や、仕事に就くまでに多少の距離のある若者 たちと働き始めて3年目になります。

仕事の内容は、個人宅の庭の草取り、大型ゴミの搬出のお手伝いなどです。

不登校、ひきこもり、発達障害、このような若者と十数年前からかかわりを持つことになり、働くことの意義や働き場を探るなかで、 「仕事をつくるから、働きたいと思うなら一緒に働こう」

ということになりました。

第二の仕事人生として、

このような若者と一緒に仕事をつくってもよい、こんな方はいませんか。

募集中です。



手稲での取り組み/活動・連携について

活動•連携

入居者同士や地域住民との交流をはじめ、各種グループ活動や気軽に相談に行ける 公共施設を紹介し、社会的つながりの獲得および回復、維持をサポートしています。

- 入居者交流会、イベント
- 町内活動への参加
- 札幌市若者活動センター等各施設との連携
- 地域、関連団体、施設との連携

活動実績

参加人数/延べ134人

- 1 金山地区町内会定期総会参加(4月)1名
- 2 花見でジンギスカン in 円山公園 開催 (5月) 5名
- 3 金山地区町内会ゴミ拾い参加(5月)2名
- 4 アカシア若者活動センターキャンドルナイトイベント参加(6月)4名
- 5 金山地区町内会ジンギスカンパーティ参加(7月)7名
- 6 プレ協同集会参加(8月)1名
- 7 手稲シンポジュウム参加(9月)5名
- 8 2012 協同集会 i n北海道 参加 (9月) 3名
- 9 アカシア若者活動センター ロビー写真展「21歳に贈られた船旅」参加 2名
- 10 子育て共同研修会「共に育ち共に学ぶ」参加 2名
- 11 金山稲穂もちつき大会参加 (11月) 2名
- 12 鵡川ししゃもツアー~えりも岬まで 自主企画 (11月) 4名
- 13 そば打ち大会参加 (12月) 2名
- 14 利用者交流会 開催 参加人数 延べ81名
 - ・誕生会/利用者交流会(各月1回)6名~10名
 - ・クリスマス会(12月)10名
 - ・年越し交流会 in れおん(12月)8名
- | 15 | 着物で初詣~in北海道神宮 企画 (1月)2名
- | 16 | 手稲支援者交流会 in れおん 開催 | (1月) 総勢 20名 | 参加人数7名
- 17 氷濤祭りツアー 企画 (2月予定) 4名





地域活動

Pick Up!

手稲こだわり野菜市



平成24年7月~10月の毎月第3日曜日に、地域の方々に向けた 野菜市を開催しました。さっぽろ若者サポートステーションに通う若者が、3泊4日で 宿泊し、おもちゃ作りや野菜市のチラシのポスティング、壮瞥産の無農薬で新鮮な 野菜の収穫、そして当日の販売と、様々な「仕事」を体験。このような体験を通して、 自分の得意を見つけ出すきっかけにつながっています。

また、ケーキ作りが得意な住民がシフォンケーキの製作からラッピング・販売まで 行いました。たくさんの方々に「美味しい」という言葉を頂き、最初は大変だった 大量のケーキ製作も、回を重ねていくなかで「成功」と「失敗」どちらにも「慣れ」て いく経験になりました。

ゼロから準備し、作り上げていく経験は参加した若者たちだけではなく、私たちスタッフも、自分たちで「ゼロ」から「何か」を生み出す貴重な経験となりました。



連携 · 協力団体 · 企業 · 施設紹介

※順不同・敬称略

- アイダ企画
- 稲荷体育用品株式会社
- 特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ
- 金山児童会館
- 株式会社サンレジデンス
- 公文式金山教室
- 札幌市若者支援総合センター
- ◆ 札幌市若者活動センター (アカシア・ポプラ・宮の沢・豊平)

若者活動センターとの連携

市内各所にある若者活動センターと連携し イベント参加や交流事業・サークル活動への 参加などの活動促進を行なっています。 同世代や世代間交流の場や 居場所作りの場として連携を行っています。

- 札幌手稲地域福祉事業所 「企業組合労協センターチュプひまわり」
- シニアサロンおいでおいで
- 市民活動プラザ星園
- 就労・生活サポートセンター手稲
- 自立支援事業所 なんもさサポート
- 計
 瞥
 町
 弁
 景
 こ
 だ
 わ
 り
 野
 菜
 市
 協
 力
 農
 家
- 手稲金山郵便局
- 特定非営利活動法人ワーカーズコープ 北海道事業本部
- ハンズハーベスト北海道
- 前田森林公園・農試公園

視察・研修・取材受入

- 財団法人札幌市青少年女性活動協会
- 秀欧会 福祉サービス
- 特定非営利活動法人ワーカーズコープ北関東事業本部 埼玉就労支援事業所
- 読売新聞東京本社



手稲/コミュニティハウスれおんに住んで

Tさん(女性)れおん住人

私が NPO のスタッフの方と出会って、れおんに住み始めてから 1 年以上経ちました。最初はスタッフの方々にいろいろと迷惑をかけてしまい、今思えばホントに申し訳ないと思います。

れおんに住んでから沢山の方に出会い、様々な理由で生活に困窮されている方の 一時保護や自立に向けたサポートを行う「キズナスポット」という活動でれおんに いろんな方が来て、今までに会ったことがない方と話せて良い経験だと思います。

たくさん書きたいことはあるのですが、私が最も印象深かった事は、昨年にスタッフと他の住居人と皆で、鵡川に柳葉魚寿司を食べに行った事です。

私は旅行が好きで休日には旅行に行ったりしていて、一昨々年から鵡川に柳葉 魚寿司を食べに行きたいなと思っていたので「一人で行こうかな」とスタッフと話し ていたら「皆で柳葉魚寿司を食べに行こう!」ということになったので、スタッフ が運転してくれて、皆で旅行することになりました。

鵡川までは2時間位で着きました。早速、お店で柳葉魚寿司と柳葉魚フライと、 焼き柳葉魚を食べてみたらとても美味しかったです。

「楽しかったね!」と皆で話しながら帰っていたらなんと!高速道路走行中に車がガス欠になってしまうハプニングが発生してしまい、ですがすぐに JAF に連絡して無事にれおんに帰宅しました。

ハプニングがありましたが、楽しい旅行になりいい思い出です。

れおんに住んでからはスタッフの方がサポートしてくれるので、いつも助けられています。

でも、早く自立して一人暮らし出来るように頑張ります。

それまで今後ともよろしくお願いします。







手稲/コミュニティハウスれおんに住んで

くさん (男性) れおん住人 野菜市/アイダ企画ジョブトレ/有償ボランティア/落ち葉ひろい

私が北海道に来たのは去年の春でした。

大学を中退してどうすれば良いのかわからずにいる時に、両親の進めで札幌市 若者支援総合センターに相談をさせていただきました。

そこで、北海道に住むのなら、一人で生活するよりもここが良いのではと、 れおんを紹介していただきました。

はじめは共同生活に対する不安が強かったのですが、スタッフの方や、先に住んでいる方々と実際にお会いしてなんとかやっていけると思いました。

同じ生活空間に他者がいるというのは、私のような人間にはよい環境だと思います。本当に一人になるということが少ないので考え方が凝り固まることが少ないからです。長くひとりでいると悪いほうへ悪いほうへ考えてしまうので、とてもありがたかった。

他にも他者とのつながりがある事で有償ボランティア等への参加、様々なイベントへの参加、自分とは違う考え方に触れるなど、人として成長する機会を得ることができてとても感謝しています。

また、私はケーキなどを焼くのですが、れおんで夏頃催されていた野菜市でケーキを販売する機会をいただきまして、多少なりとも技術が向上し縁あって作る機会を何度かいただけたのですが、その時も自信を持って作ることができました。

居場所があり、するべきことが目の前にあるのは、それだけでも前向きになれます。もちろん不慣れなことや難しいこともあり、逃げ出してしまったこともあります。それでも周りの人たちは手を差し伸べてくれました。

迷うこと、思い悩むことは一人でいるときより増えました。 ですがそれは良い事だと思っています。 人は人と関わって成長するそうです。

それなら私もゆっくりではあっても成長しているはずですから。

最後に、私を支えてくれている人達に感謝を、歩くようなスピードで、 それでも進むことをやめない人達にエールを、先を行く人達に意志を、 それらがこれから歩き始める人達の道標となることを。 それではまたどこかで。



月形での取り組み(北海道樺戸郡月形町)

月形での取り組みは、平成18年度から始まりました。

現在、月形事業所では就労や生活困難な若者らの自立支援を行っています。全国から集まる若者たちは月形町に暮らしながら、農作業を中心とした就労体験を積んでいます。



月形事業所わくわーく

職員は こちらに おります



若者共同生活住宅 樺月荘

現在は4名の若者が 共同生活を 、送っています

事業携帯 090-9431-4041 月形日記Blog http://tukigatanikki.seesaa.net/ 月形での生活と地域活動は 密接に関わっています!

生活(地域活動)

- 若者共同生活 開始(4月~)
- 町内会清掃活動・花壇清掃 参加
- 行政区対抗ソフトボール大会 出場
- 田園空間博物館樺戸地区 月形浦臼エリア施設見学会参加
- 樺戸神社 秋季祭典奉納カラオケ大会 出場
- 地域住民ギター教室 参加(8月~)
- 中和年忘れ大カラオケ大会 出場
- 月形町新年交礼会 参加
- 月形町地産地消計画推進協議会主催 料理コンテスト 参加
- 月形町社会福祉協議会主催 各種講習会 参加





月形スタップ 高橋 史織





おぎはら じゅんぺい

扇原 純平 元利用者/現在月形パート職員



自分が最初に月形に関わったのは、およそ4年前、

札幌のサポステに行き参加した職業セミナーのプログラムの中でした。

その時は大豆の収穫をするといって来たのですが、予定変更になりペレット 工場の見学だけであまり面白くなかったのを覚えています。(笑)

それからもちょくちょく月形に遊びに、また人とのふれあいを求めて行っていました。

札幌で仕事が決まったあともリフレッシュの場として行くようになり、田舎が 好きな自分にとってはとても安らげる、居心地のいい場所でした。また、自分の 夢を実現できるきっかけがここでは掴めるのではないかとも思っていました。

そして去年 (H24) の春、月形で色々やってみたいことがある、月形の仕事を 手伝ってもいいと軽く話したところ、トントンと話が進みNPOパート職員として 働くことになってしまいました。まぁ自分が来たくて来たわけですが、その時 働いていたところよりも給料は下がるし、ある意味『新しい生き方、働き方』の 実験体としてこの身を預けることにしました。

月形に来てからは自分の住むところを直したり、畑仕事をやったり(10月の大根抜きはホント辛かった)慣れないジョブトレーニングの引率、参加者指導も炎天下の中ミニトマトの収穫をしつつで、本当にぶっ倒れそうになりながらやっていました。

ジョブトレーナーの仕事も少し前までは逆の立場だったことを考えると何か変な感じで、きちんとできているのだろうかという思いもありましたが、参加者が皆いい顔をして帰って行ったのを見るとちゃんとできていたんだなと思います。

そうこうしているうちに冬を迎え、シェアハウスで一緒に住んでいた下宿利用者の 子達も一人二人と帰ってしまい、現在周りに水田が広がる一軒家でさみしく一人 暮らしです。でも来年度からはやりたかったこともたくさん出来そうですし、北海道 フードマイスターの資格取得に向けて勉強したり、グリーンツーリズムのアイデアを 練ったりと楽しんで過ごしています。

あと最近は除雪の仕事で忙しくしています。 ムキムキになれるといいなぁ。

月形での取り組み/仕事(ジョブトレーニング)

月形町内でのジョブトレーニングは、地域の方のあたたかいご理解とご協力のもとに、 若者達へ熱意のあるご指導をいただいております。 ※順不同・敬称略

農園

板井農園 平成 24 年 4月~10月 (利用者延べ3名) 若槻農園

平成 24 年 5 月より随時 宮下農園

平成 24 年 5月~ 10月 (利用者 1名) 小豆草取り 収穫作業 平成24年 7月より随時 (利用者5名)

五十嵐 農園



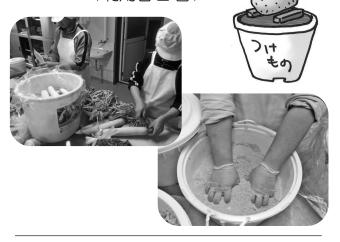
- ●平成 24 年 5 月~ 10 月 (利用者 1 名)
- ●ミニトマト収穫 1 週間滞在プログラム 、 平成 24 年 7 月~(総利用者 18 名)



食品 製造

サトニクラス 漬物製造

平成 24 年 11 月~ (利用者 2 名)



振興公社 トマトジュース工場

平成24年7月~10月(利用者1名)

飲食店

ドームレストラン 北喜常

---調理・店内業務全般 平成 24 年 12 月(利用者 1 名)

除雪



ふあーむまーと旬 平成 24 年 12 月~ (利用者 2 名)



ラーメン むつみ屋 平成24年12月~(利用者2名)

lさん(29歳・男性) ミニトマト収穫ジョブトレーニング参加者

僕は、2012年の夏に約3ヶ月間、月形町で農業をしながら、共同生活をしま した。

1週間の生活サイクルは、主に月~金は働き、土・日が休日というものでした。 夏の炎天下の中でのトマト収穫は大変でしたが、仕事の後の食事は格別でした。 生活を続けていると朝食から丼飯2~3杯を食べる程になりました。共同生活では 料理が得意な人に負担が多いので、時々、料理の補助・食器洗いなどをしました。 生活の後半では、昼食の弁当を自分で用意しました。

とはいえ、月形での生活が長くなってくると仕事の疲れもあり、自分の事だけで精一杯でした。自分にとっての最大の収穫は、農業で体力・精神力の両面を鍛えられたことやかけがえのない友人が出来たことです。今現在札幌での仕事で少々苦しいことがあっても、この農業体験が心の支えになっています。

それから、ある意味第2のふるさとが出来たようで共同生活を終えて間もないのですが、なつかしさを感じています。

Fさん(27歳・男性) 月形長期下宿人

初めて月形に来たのは一昨年の9月頃でした。最初は一週間と決めていましたが、穴澤さんと話しているうちに、一ヶ月ほど頑張ることになりました。

主な仕事はミニトマトの収穫の作業でした。ハウス内での慣れない環境での仕事は大変でしたが、それはそれで色んな人との触れ合いや会話等が出来て楽しかったと思いました。

月形に再び来たのが去年の5月6日でした。その時は自分の意志ではなく両親と、ある知人の無理矢理な勧めで月形に来てしまいました。でもなんとなく数週間で慣れちゃいました。来た当初は仕事という仕事がなくて、色々な手伝いをしてきました。7月に入りやっと振興公社でのトマト工場のジュース作りの仕事が決まりました。

冬の期間は、除雪有償ボランティアの作業をしています。ラーメンむつみ屋さんの除雪では、屋根の雪おろしなどをして、お礼にラーメンをご馳走になっています。

その他に、ふぁーむマート旬という店の、屋根から落ちてきた雪をどかす作業 もありました。その他1月中に2回ほど、トマトジュース工場の倉庫作業もありま した。ダンボールを降ろしては流していくという作業を永遠にやり続け…すごく疲れ ました。

今後の話をしますが、まず車の免許を取ることが今年の目標です。

札幌とのつながり

月形町内だけではなく、札幌近郊の施設や関連団体との連携を行いながら活動の場を広げています。※順不同・敬称略

若者支援施設

札幌市若者支援総合センター
さっぽろ若者サポートステーション

月形日帰り体験 (4月~11月)









ミニトマト収穫 ジョブトレ*ー*ニング

宮の沢活動センター

厚別冬まつり 雪像づくり指導





/ 小学3年生と一緒に 雪像づくり! 子供たちは大喜び!



豊平若者活動センター

FMアップル ラジオ出演 (全2回)



野菜市・イベント参加

白石まちづくりハウス



青空野菜市 野菜販売(全4回)



札幌理容協同組合

イベント参加 野菜販売





迎えてくださいます!

月形での取り組み/連携について

月形町内では地域団体と密接に関わり、取り組みをすすめて 月形でのつながり います。また外部からの視察・研修も受け入れています。

※順不同・敬称略

月形町

特定非営利活動法人 サトニクラス

サトニクラス 夜学校開校





月形町主催 夏祭り

漬物販売

札幌西区体育館 イベント参加





月形町社会福祉協議会

ボランティア センターまつり ひやむぎ販売



月形協力者紹介

清水さんの

平成22年度より、清水さん宅を間借り させていただき、日帰り・一泊体験を実 施させていただいています。

また平成23年5月~10月は清水さん 宅で、下宿人の若者とスタッフで共同生活 を送りました。



−ム野良農羅(のらのら) ○

のらのら

とうこさん率いる「チーム野良農羅」は、家庭菜園を 営む一坪農園主から、町の基幹産業を支える農業法人 までの多様な人の集まりです。

月形の住民の方が主体的にサポートチームを作り 始めて支えてくれるようになっています。

視察・研修・取材受入

札幌市 厚別 まちづくりセンター

厚別東地区社会福祉協議会 福祉施設視察研修

参加人数 全48名 沢山の方に月形に お越しいただきました





その他連携

- 特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝
- 特定非営利活動法人 地域生活支援ネットワークサロン
- 特定非営利活動法人 文化学習共同ネットワーク
- 札幌市篠路コミュニティセンター
- 文部科学省 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター
- 北星学園余市高等学校
- 北海道新聞社

くすのき じゅんいち

楠順一

特定非営利活動法人 サトニクラス 代表



ス々に晴れ間の見えた朝、新雪がキラキラと輝く雪原の中で、 昨秋畑に埋めた大根を掘り出す若者二人。

掘り出した大根は昼間でも油断すれば凍ってしまう。すぐ雪をかけて保温する。 雪は優れた断熱材というのは近頃彼らが学んだ知恵だ。

北海道月形町の積雪は1月末現在約1.5m。この地に住む農家にとって雪は 手ごわい敵であるとともに、いやおうなしに賢く付き合っていかなければならない パートナーでもある。

自然の力を受け容れ、利用する。機械力を駆使する大規模経営が主流になり つつある北海道農業でもその基本は変わらない。

都会からこの月形に移り住んだ若者たちは、人々が自然と向き合いながら営んできた暮らしを追体験している。

農家である私がNPO法人「サトニクラス」を立ち上げ、「若者支援と地域再生を同時に進めていこう」という無謀な企みを開始してまだ1年も経っていない。

その成果はまだ形にはなっていないが、私にとって何よりも心強いのは、若者たちが日々逞しさを増し、成長していることである。

それとともに、少しずつこの企みに共感し賛同する人々の輪が広がりつつある。

事業の柱に据えた「漬物」はまだ試行錯誤途上にあるが、若者たちの生きる チカラは、彼らの心の中に静かに確かに「発酵」しつつある。

サトニクラス

コミュニティワーク研究実践センター月形事業所の取り組みにご協力いただいているサトニクラスさんをご紹介します。

里に暮らすこと、里に学ぶこと。

サトニクラスの3つのビジョン

農と福祉で支え合う地域を創りたい 古くて新しい里の暮らしを学びたい

ふるさとに持続可能なコミュニティを創りたい

今年度は月形町で暮らし自立をめざしている 若者たちとの連携作りを優先して進めます。 秋冬の野菜収穫と漬物作りを通じて収入の道を開くとともに ものづくりの心と技を身につけたいと考えます。

NPO法人サトニクラス 代表 楠 順一 住所 北海道樺戸郡月形町字知来乙595 TEL/FAX 0126(53)2768 E-mail info@satoniclass.com HP http://satoniclass.com/



月形/連携について

特定非営利活動法人コミュニティワーク研究実践センター 行方 和之 月形事業所 わくわーく 所長

以前から月形町内にて、私達の取り組みを気にかけてくださっていた、 楠順一さんが特定非営利活動法人「サトニクラス」を設立したことをきっかけに、 樺月荘下宿若者たちと共に、漬物製造という仕事づくりへの挑戦を始めました。

秋から数人の若者が楠さんの大根収穫作業に参加、漬物仕込の前段の大根洗い や干し作業にも加わるようになりました。

冬からは2名の若者が「サトニクラス」の漬物製造を本格的に担うことになり、 現在は、大根の塩漬けから沢庵や玄米漬け等の本漬け、パックまで一連の作業を 若者達だけでこなせるようになりました。

若者たちは静かに丁寧にひとつひとつの作業に取り組みます。 時間はかかるけれど、ごまかしのないそのこだわりは、漬物の発酵を担う微生物 の働きに似ているとさえ感じます。

地域の中での関わりから生まれた新たな取組により若者たち、もちろん私達 職員はたしかな何かをつかみ取りつつあります。

月形町を生まれ故郷に持たない私達NPOの活動ですが、地域を学校にし、 若者が一人前になるための第一歩を、地域住民の協力をいただきながら 月形町にて進めていければと思っています。







若者支援施設での取り組み(札幌市若者支援総合センター)



札幌市若者支援総合センター さっぽろ若者サポートステーション

所在地 札幌市中央区南1条東2丁目6

大通バスセンタービル2号館 1階・2階

電話 011-223-4420

011-231-2884 FAX

E-mail center@sapporo-youth.jp

http://www.sapporo-youth.jp/center/ HP

札幌市若者支援総合センターは、引きこもりやニートとよばれるおおむね 40 歳未満の 若者の相談窓口を設け、必要なサポートを行いながら社会的自立を支援します。

コミュニティワーク研究実践センターは、さっぽろ若者サポートステーションの一部の プログラム(食談会・女子会・畑部)や、月形日帰り体験などを平成22年4月より実施 しています。また、ロビーカフェを実施し、就労後の居場所づくりも行っています。



紹介









偶数週/月曜日 10:30~13:30

社会体験の場としてそれぞれが一歩 踏み出すためのグループワークを行います。 定期的な活動を通して生活のリズムを整え、 簡単な共同炊事の中でコミュニケーション スキルを身につけます。





奇数週/水曜日 13:30~16:00

お菓子作りや小物作り、 お茶をしながらのおしゃべりなど、 ゆったりペースで活動します。









5月~11月 (月2回実施/各回定員2名)

ご飯を作って食べて活動! 月形町の清水さん宅にて、 簡単な農作業体験を実施しています。 大家庭菜園での農作業や、 収穫した作物で食事づくりを行います。 「体を動かしてリフレッシュしたい」 「農業に興味がある」など、 参加する方の目的とペースに

あわせて活動しています。

人と関わり

生きる基本です!

若者支援施設での取り組み/若者支援総合センター



平成24年4月より若者支援総合センターの小さな畑を開墾し、週1回の活動を通して、トマト・にんにく・さつまいもなどの野菜(全12種類)と、ハーブや花を栽培しました。また、企画運営をすべて畑部メンバーが行う畑部カフェを実施し、収穫した作物で作ったメニューを提供しました。求職中の方のトレーニングの場だけではなく、就労後の余暇活動として利用されている方も多く、仕事を継続するためのリフレッシュの場でもあります。

少声

畑部の活動について Mさん(男性)

サポステプログラムや 月形日帰り体験などに参加され 本人の頑張りにより 就労決定しました!

平成24年4月、スタッフ高田さんを顧問に迎え、総合センターの畑を舞台に通称【畑部】の活動が始動しました。

丁度同時期に私はデスクワークの仕事が決まり、皆で体を動かして生産的な活動をする畑部の時間は精神的にもバランスが取れ、とても充実したものになりました。

春、記念すべき畑部最初のミッションは、畑の中心に鎮座する 切り株の撤去でした。「よし、引っこ抜くか」とノリで言ってみたところ、 皆が協力してくれ、2週間に渡る格闘の末、切り株の撤去に成功。

広くなった畑を開墾し、私達はトマトやバジル等、様々な作物を植えていきました。 中でも私の一番のお気に入りは、就職祝いにと頂いたさつまいもの苗でした。 (就職して実はこれが一番嬉しかった)

夏の終わりには、日頃よりお世話になっている我らが顧問の誕生日と、畑部の活動日が見事バッティング。

これはやるしかない、ということでサプライズ生誕祭を企画しました。 しかし当日、何も知らない我らが顧問が大暴走。

「私調理の準備してるから、皆は畑からトマト採ってきて」等やりたい放題。 ケーキの準備ができず(空気読んでくれ…)と誰もが思いました。 結局、強引に軌道修正して何とか生誕祭開催。ままならないものです。

ちなみにトマトは後日ピザにして美味しくいただきました。

そんなこんなで季節は秋、無事収穫したさつまいもを使い、 畑部活動の集大成とも言える畑部カフェを開催。メニュー決め、 告知ポスター作り、当日の運営、全てを部員で協力して行いました。 カフェ当日は告知の成果もあり、25 名ものお客様が来店してくれました。 メニューの【さつまいものマドレーヌ・南瓜のチップス添え】は見事完売! 大成功でした。

e!

カフェが終わってすぐに農作業道具の片づけをして、畑部は幕を閉じましたが、 その後私達は【畑部】改め【引越部】として、総合センター移転の手伝いをさせてもらっています。 微力ながら、お世話になった恩返しができて嬉しいけど、畑がないのは少し寂しいな~と 私は思うわけなのです。

若者支援施設での取り組み/ロビーカフェ



札幌市若者支援総合センターでは、週に1回、NPOスタッフによるロビーカフェを開催しています。 全て100円のドリンクメニューと、"持ち込み自由"でどなたでも利用出来る雰囲気が特徴のカフェです。 プログラム参加後や、気ままに施設を訪れる方々の出会いと憩いの場となっています。

(・)(声) ロビーカフェのお手伝いについて

若者支援総合センターのロビーカフェは、お手伝いボランティアの方のご協力のもと運営しています。 今年度お手伝いいただいた、さっぽろ若者サポートステーションご利用のお二人にお話をお伺いしました。

Gさん (女性)

私は飲食店で働きたいという希望があり、その訓練としてカフェの手伝いをさせてもらいました。 最初はドリンクを注ぐだけでも緊張しましたが、わからないことや迷ったときはスタッフさんに 相談し、スタッフさんも優しく教えてくれました。

接客の仕方はお客さんと会話をしながらの楽しいものでした。

プログラムの話や就職活動についても色々話ができたのでいい刺激になりました。

ドリンク提供の他にも、スタンプカードを作成し、お楽しみサービスを考えました。

お客さんを喜ばせるアイデアを出すのは難しかったです。

その後、私は飲食店に勤めることができました。

カフェで経験したことのおかけで、緊張も少なく、仕事にも早く慣れることができました。 現在も仕事をしながら時間を作ってカフェに来ています。

スタッフさんも暖かく迎えてくれますし、できる範囲の手伝いはリフレッシュにもなっています。 和やかな雰囲気のカフェは私にとって憩いの場です。

Yさん(女性)



カフェでの手伝いの始まりは、趣味で収集していたCDをBGMに使用してもらっていた事でした。 畑部で育てた野菜を調理提供して『畑部カフェ』を催す事になり、私はドリンク担当になりました。 当日予想以上の来客数とオーダーの多さに、気持ちが焦り思ったとおりに動けない自分に歯痒さ を感じました。以降カフェが忙しい時は時折手伝いをさせてもらい、手伝うなかで徐々に働くとい う感覚を思い出し、最近は焦らず落ち着いて物事を進めることが出来てきていると思います。 今はこれからの就労に向けて接客の練習と復習になればと思い、お手伝いさせてもらっています。

若者支援施設での取り組み(札幌市アカシア若者活動センター)



札幌市アカシア若者活動センター

所在地 札幌市東区北 22 条東 1 丁目

電話 011-752-7959 FAX 011-752-7938

E-mail: akashia@sapporo-youth.jp

HP: http://www.sapporo-youth.jp/akashia/

若者活動センターは若者と地域をつなぐ拠点として、若者のまちづくり活動やイベントへの参加をサポートします。また、若者向け講座の開催や、若者団体の登録制度を設けて情報提供を行うなど、若者の仲間づくりや交流を促進します。

コミュニティワーク研究実践センターの、若者支援施設での取り組みは平成22年4月より行っています。





若者支援総合センターのロビーカフェを 利用している方が企画し、 アカシア若者活動センターロビーにて 巨大パフェづくりを行いました♪

ロビー相談

「これからこんな活動をしてみたい!」「どんな活動が自分に合っているのか?」

などの思いを、お話を通してじっくり受け止め、 一緒に方向性を探します。



写真展を 行いました♪

ミニワークショップ クリスマスツリー 飾りつけ♪

趣向の似た仲間を集めて、同じ取り組みに 挑戦するワークショップ等も企画しています。

拠点同士の連携



生活の中にある居場所の1つとなれるよう、他の拠点とも繋がりのあるスタッフが 駐在しています。仕事や生活、活動の事について話したい時には、気軽に立ち寄れる 場所となっています。また個人の興味がある事柄について、若者活動センターでの イベント情報なども提供しております!

市民活動プラザ星園



コミュニティワーク研究実践センターの 事務局はこちらです

所在地 札幌市中央区南8条西2丁目

電話 011-511-1315

FAX 011-511-1316

E-mail npo@communitywork.info

HPhttp://www.communitywork.info/

「札幌市市民まちづくり活動促進条例」に定める市民まちづくり活動を促進するために、 活動スペースの確保と、市民活動サポートセンターの補完機能や、新たな公共の担い手支援 機能を併せ持つ市民まちづくり活動支援の拠点です。

コミュニティワーク研究実践センターは平成23年8月より管理運営を行っています。

星園まつり



平成24年 10/14

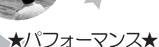
約250名 来場者数

参加団体数 13団体(うち入居団体は7団体)









関連団体やパフォーマーによる ステージ発表で大盛り上がり!



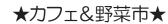


市民活動体験コーナーは入居している 団体の方に行っていただきました。



★物販コーナー★





月形産野菜の販売と 月形カレー&甘酒を提供しました



就労困難な若者たちが ジョブトレーニングとして 事前準備・当日スタッフを 担当しました

★おもちゃづくり★





手稲からは おもちゃづくりコー

市民活動プラザ星園/ジョブトレーニング

清掃





トレーニング期間

6ヵ月(うち研修3週間)

勤務時間

AM8: $30 \sim 11:30$

トレーニング費

指導者ありの場合/1日1000円 訓練生のみの場合/1日2130円

参加人数

6名

株式会社特殊衣料のスタッフの方に、清掃トレーニングの指導をして頂き、毎日市民活動プラザ星園館内の清掃を行っています。

清掃をする場所は1階から4階までの廊下、トイレ、給湯室、各貸室、階段等です。 半年に1度定期清掃があり、ワックスがけも行います。

出勤は1日2人のシフト制になっており、分担表に添って作業をしています。分担表はAパートとBパートに分かれており、曜日ごとに清掃する場所が変わります。

このトレーニングに参加したことで、清掃業務に興味を持ち清掃の仕事に就く方や、 家での手伝いに活かすことが出来ている等、良い経験になったと言ってくれる方が多い です。

除雪





トレーニング 期間 4ヵ月(12月1日~3月31日) 雪が降った日のみ実施

勤務時間

AM7:00~

トレーニング費

1回1500円

参加人数

3名

コミュニティワーク研究実践センターのスタッフと一緒に、市民活動プラザ星園の玄関、 駐車場の除雪を行っています。

出勤は1日2人のシフト制です。除雪に必要な雪かき、長靴、手袋等は市民活動 プラザ星園で準備しています。

早朝からの作業のため生活習慣を改善したい方にはもってこいのトレーニングです。 また、除雪をしていると入居者や施設利用の方々が、「ありがとう」「ご苦労様」と 直接声をかけて下さり、仕事への責任感や達成感につながっています。

認定 NPO 法人「飛んでけ!車いす」の会



日本で使われなくなった車いすを集め、整備・清掃し、 主に発展途上国で車いすを必要としている人々へ届ける 活動をしています。

活動 14 年間で世界 75 ヶ国 2100 台以上の車いすを 届けてきました。

市民活動プラザ星園内では、車いすのタイヤ等を購入するためのリングプルを収集しています。

車いすを提供する人、整備をする人、海外と連絡を 取る人、旅行者として海外へ届ける人、様々な人が 関わっています。

一緒に想いのこもった車いすを世界中に届けましょう!!

健康生きがいづくりアドバイザー北海道協議会





少子高齢化が進む社会に於いて、更なる人生を求める人達の良き相談相手と なって、健康づくりや生きがいづくりを支援する団体です。

「健康で楽しい人生」をモットーに、地域社会で仲間づくり・相談・助言・ セミナー等の啓発普及活動の他、ボランティア活動を行っています。

市民活動プラザ星園内では1階交流スペースを利用して、カフェを行いました。

市民活動プラザ星園拠点の活動団体紹介

街創造スタッフ





年に1度の大イベント! だい・どん・でん!を 企画・運営します!

市民活動プラザ星園を 拠点に企画会議を行い 様々な活動をしています



豊平若者活動センター主催の「街創造スタッフ養成講座」で活動する団体で、 将来の札幌の「まちづくり」の担い手の育成や若者の社会参加の促進を目的に、 2001年からスタートしました。

現在は「札幌のまちをもっとにぎやかに!」という目標のもと、「だい・どん・ でん!」や、その他パフォーマンスを中心とした自主企画イベントを行うことで、 文化発信する場を欲している人にはパフォーマンスの場を、一般の方にはパフォー マンスにふれる場をつくり、目標の達成を目指しています。スタッフの構成は20 代~30代の大学生と社会人からなり、現在は約20名で活動しています。



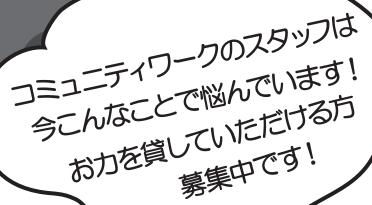
パフォーマンスイベントで、2012年で12回目の開催を迎えました。

ジャグリングやパントマイムなどの王道の大道芸から、ダンスやバンド演奏、 似顔絵描きや各種伝統芸能など幅広いパフォーマンスが混在し、他の大道芸 イベントとは一味異なる趣を醸し出しております。

コミュニティワークの

大暴露?!

スタッフ困りごと つぶやき大会





穴澤 義晴

大築 覚

館内が殺風景なので アットホームな雰囲気に なればいいなあ…。

市民活動プラザ星園





増井 三亜



金野 理恵

星園のカフェスペースは 設備が整っているのに 有効活用できていない!

吉田 有里

移転後の 若者支援総合センターには 畑がないので 札幌の中心部で農作業ができる 場所がほしい!

札幌市 皆支援総合センタ・

高田 由里子

-34-

みんなが集いやすい中心部に 新しいお家が欲しいなぁ…。



若者が孤立しているので 関わってくれる方を **、**募集しています!

カを持て余している 若者がいるのに 活躍の場がないなぁ。



白船 正司

佐渡 洋子



湯澤 真吾



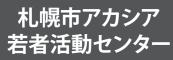
共同生活の食事メニューの アイディア切れ! 簡単レシピ募集!



▼ 高橋 史織 新鮮な野菜を札幌に届けたいけど売る場所がない…。

月形ドキュメント 番組をつくりたい! でも技術がない…。

色々な人の アイデアを集めて -緒に何かやりたい!





鈴木 麻里子

月形を北海道の 軽井沢にしたいけど アイディアがない…。



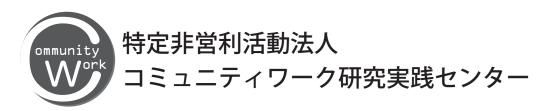


行方 和之

雪かきばかりで 活動できない! 除雪機があれば…。







事務局のごあんない

所在地

市民活動プラザ星園

(受付事務所内) 札幌市中央区南8条西2丁目

最寄駅

地下鉄東豊線 豊水すすきの駅 6番出口 地下鉄南北線 中島公園駅 1番出口



電話:011-511-1315

FAX: 011-511-1316

E-mail: npo@communitywork.info

H P: http://www.communitywork.info/